すがすがしい新緑の中で

初夏の新緑が美しい花房峡憩いの森で　ジョギング大会を開催。
参加者は思い思いのペースで走り、さわやかな汗を流していました。

初夏の新緑が美しい花房峡憩いの森で、5月15日、「第5回花房峡憩いの森新緑ジョギング大会」が開催されました。

大会コースは、最大で約90メートルもの高低差がある難コース、当日は、2㎞、3㎞、5㎞、8㎞、の4部門50種目に3歳から84歳までの約270人が参加しました。

目標タイムを目指して懸命に走る選手や、思い思いに自分のペースで走る選手、親子・友人同士さまざまで、沿道に詰めかけた観客から盛んに声援が送られていました。

特に今年は、花房峡憩いの森オープン20周年を記念して、昨年、都大路に鹿児島旋風を巻き起こし、見事初優勝に輝いた鹿児島実業高校陸上部が特別参加して、各種目に分かれて走り、参加者にとっては全国レベルの選手と走ることで自分の力を試す良い機会となりました。

競技終了後、鹿児島実業高校との交流会の中では、末吉町深川出身の上岡貞則監督から、全国高校駅伝大会の秘話や子供達の普段の姿、練習の様子などの講話があり、皆とても興味深く聞いていました。

また、陸上部高田康暉(こうき)主将の決意表明には大きな拍手が送られました。

お父さん（山下大輔さん）とお姉ちゃん（乃愛(のあ)ちゃん）、いとこの佐藤友香(ゆうか)ちゃんといっしょに参加した鹿児島市に住む山下愛翔(あいと)くんは、「とてもきつかったけど最後まで走りきることができて、とても気持ちよかったです。来年は一番がとれるように一生懸命がんばりたいです」と元気よく話してくれました。

鹿児島実業高校陸上部選手の紹介